



2026年は、日本・シンガポール外交関係樹立60周年！

日本からシンガポールへ ご家族のためのさい帯・さい帯血保管



シンガポールでの事業開始を控え、外交関係樹立60周年という節目に、両国の「家族向けさい帯血保管事情」を比べてみました。

1 日本とシンガポールを数字で比べてみると？

年間出生数

 日本 約 **67** 万人 シンガポール 約 **3** 万人

家族向けさい帯血保管率※

 日本 約 **1.1** % 約90人に1人 シンガポール 約 **20** % 約5人に1人当社は
国内シェア
99% 同じ家族向けさい帯血保管でも、選ばれている割合には**大きな違い**があります。

※日本は2025年の出生数と当社2026年3月期さい帯血保管実績約7,400件をもとに概算

※シンガポールは現地ヒアリング等をもとにした当社調べ

※国内シェアは厚生労働省健康局「臍帯血の引き渡し実績等に関する報告」(2025年3月31日時点)より

2 保管費用はどのくらい違う？

日本

 20年間 約 **42.4** 万円(税込)

当社「ONEホーププラン」

※さい帯もしくはさい帯血のいずれかを保管した場合

シンガポール

 21年間 約 **86.1** 万円(約7,000SGD)

※1 SGDは約123円で換算

※料金は一例となりサービス内容や事業者によって異なります



日本より高い保管費用。

それでもシンガポールでは家族向け保管が**広く選ばれています**。

3 なぜシンガポールでは家族向け保管が身近なの？

妊娠・出産の場で、
民間バンクを知る機会がある

一部の産科施設に、**民間さい帯血バンクの相談カウンター**が設置されています。
また、**妊婦向けイベント**にはほとんどの妊婦が来場し、さい帯血保管について知るきっかけにもなっています。
妊娠・出産というタイミングで**さい帯血保管について知り、相談できる機会**があります。

子育て支援制度を
利用できる場合がある

出産や子育てを支援する「Baby Bonus Scheme」があり、そのひとつである「**Child Development Account(CDA)**」は、子どもに関する対象費用の支払いに利用できる仕組みです。
さい帯血保管についても、対象となる事業者では**保管費用の支払いにCDAを利用できる**場合があります。



「シンガポール拠点開設記念講演会・交流会(仮称)」を中心とした当社の取り組みが 外務省 日本・シンガポール外交関係樹立60周年記念事業に認定

60周年を記念し、両国間の交流や相互理解を深める取り組みを、外務省が記念事業として認めるものです。
当社は、両国の再生医療・細胞保管分野の関係者による講演・交流を予定しています。

当社は、シンガポールを起点に東南アジア展開を目指します

—— 出生数の多い国々が集まり、家族向けさい帯血保管サービスが広がる東南アジア ——



※年間出生数
各国公式統計・UN World Population Prospects等の
2024～2025年の公表値をもとに作成

※民間バンク数
「Parent's Guide to Cord Blood Foundation」HPより

国	年間出生数	民間バンク数
インドネシア	約 444万人	4
フィリピン	約 136万人	3
ベトナム	約 136万人	5
タイ	約 46万人	4
マレーシア	約 41万人	2
シンガポール	約 3 万人	3
東南アジア全体		約 952万人 24

2026年5月、シンガポールに細胞処理センター・細胞保管センターが完成

日本で培った細胞処理、品質管理、長期保管のノウハウを活かし、2026年中の事業開始を予定しています



—約450㎡の施設内に、細胞処理から長期保管まで一貫して対応する設備を整備—



高い品質管理環境



24時間の監視体制



安定した長期保管



確実なデータ管理

stemcell
INSTITUTE

株式会社ステムセル研究所 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-21-19東急虎ノ門ビル2階 TEL: 03-6811-3230